

江別市自立支援協議会アンケートの調査結果について

1 実施目的

江別市自立支援協議会に参加している事業所における新型コロナウイルス感染症の対応について、その実態を把握すること及び今後の協議会運営の課題を把握するための資料として実施するもの。

2 回答方法

各専門部会（相談支援部会、就労支援部会、子ども部会、広報部会）から各事業所へメールで回答依頼を行い、実施している支援の種類ごとに回答用紙をメールで提出していただいた。

3 回答期間

令和3年3月3日から3月16日まで

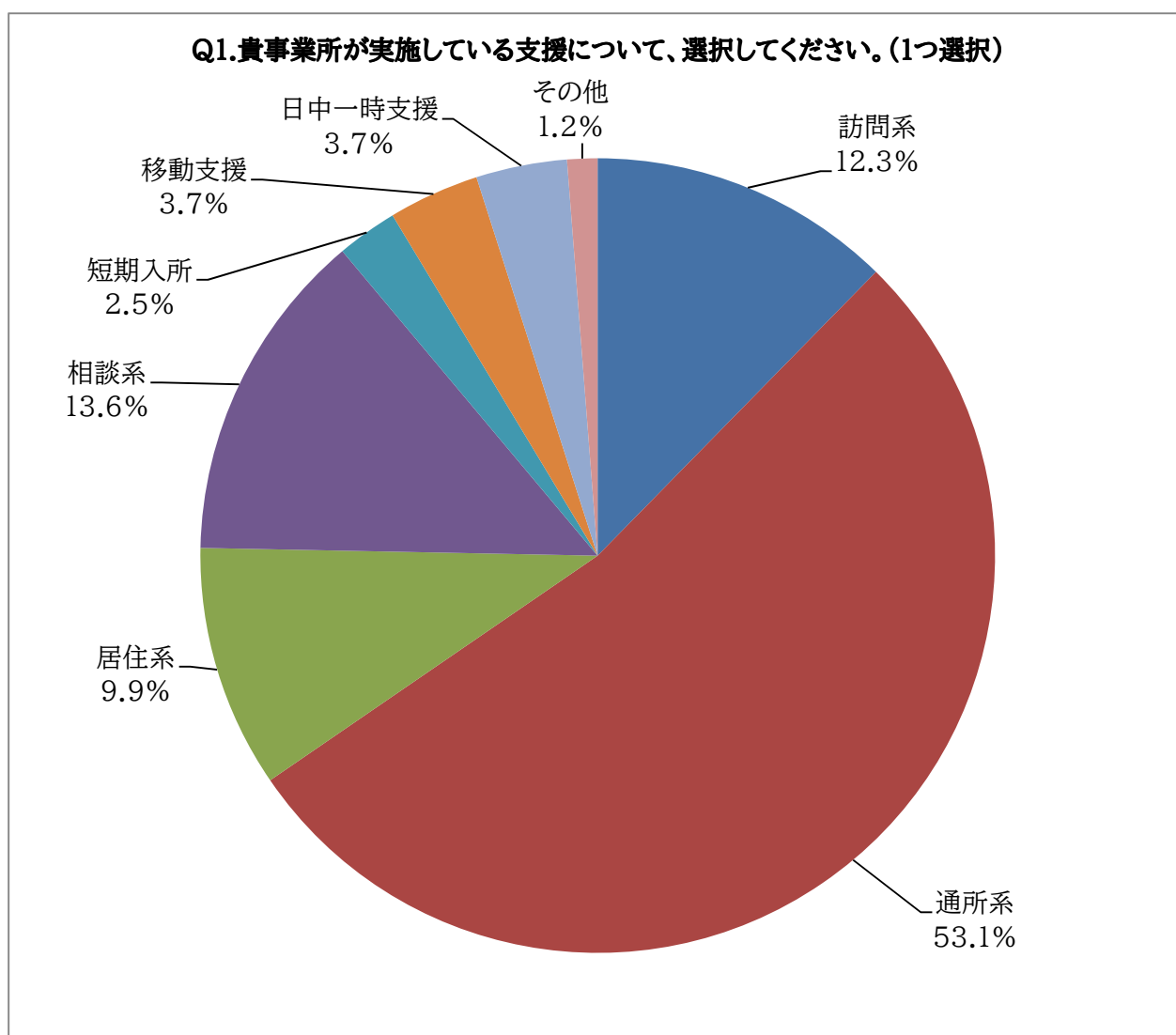
4 回答率

53.3%

	相談支援部会	就労支援部会	子ども部会	広報部会	合計
アンケート依頼件数	15	21	35	49	120
1つ回答があった事業所数	6	12	19	11	48
2つ回答があった事業所数	2	2	2	7	13
3つ回答があった事業所数	0	0	1	1	2
4つ回答があった事業所数	0	0	0	1	1
アンケート回答件数	10	16	26	32	84
アンケート回答率	53.3%	66.7%	62.9%	40.8%	53.3%

※複数の支援を行っている事業所は、支援の種類ごとに回答していただいた。

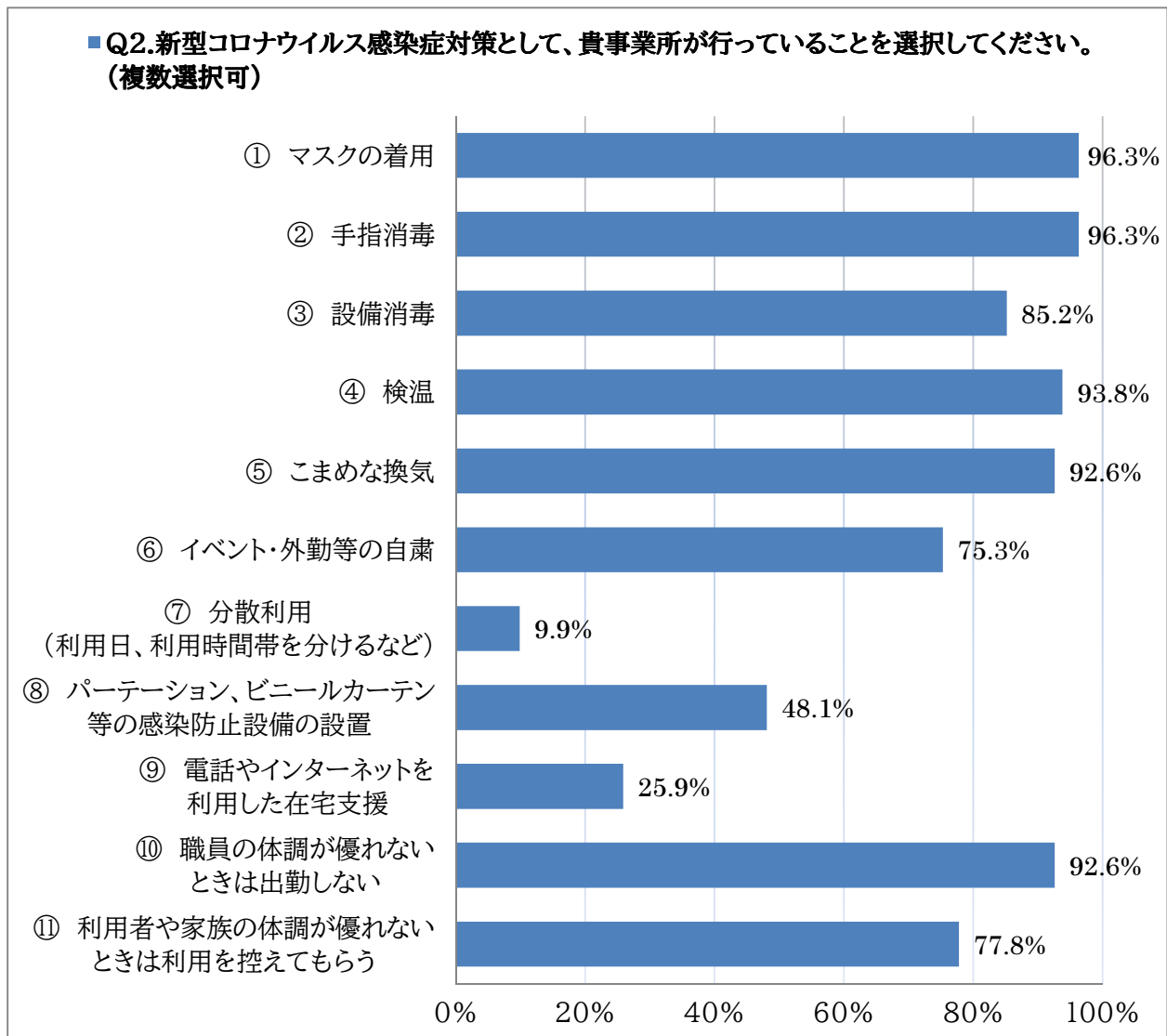
5 Q1について



【本調査における支援の区別について】

- ・ 訪問系（居宅介護、重度訪問介護、行動援護、保育所等訪問支援等）
- ・ 通所系（生活介護、就労移行支援、就労継続支援A，B型、就労定着支援、児童発達支援、放課後等デイサービス等）
- ・ 居住系（施設入所支援、共同生活援助等）
- ・ 相談系（相談支援、計画相談等）
- ・ 短期入所
- ・ 移動支援
- ・ 日中一時支援
- ・ その他（上記のいずれにも該当しない）

6 Q2について



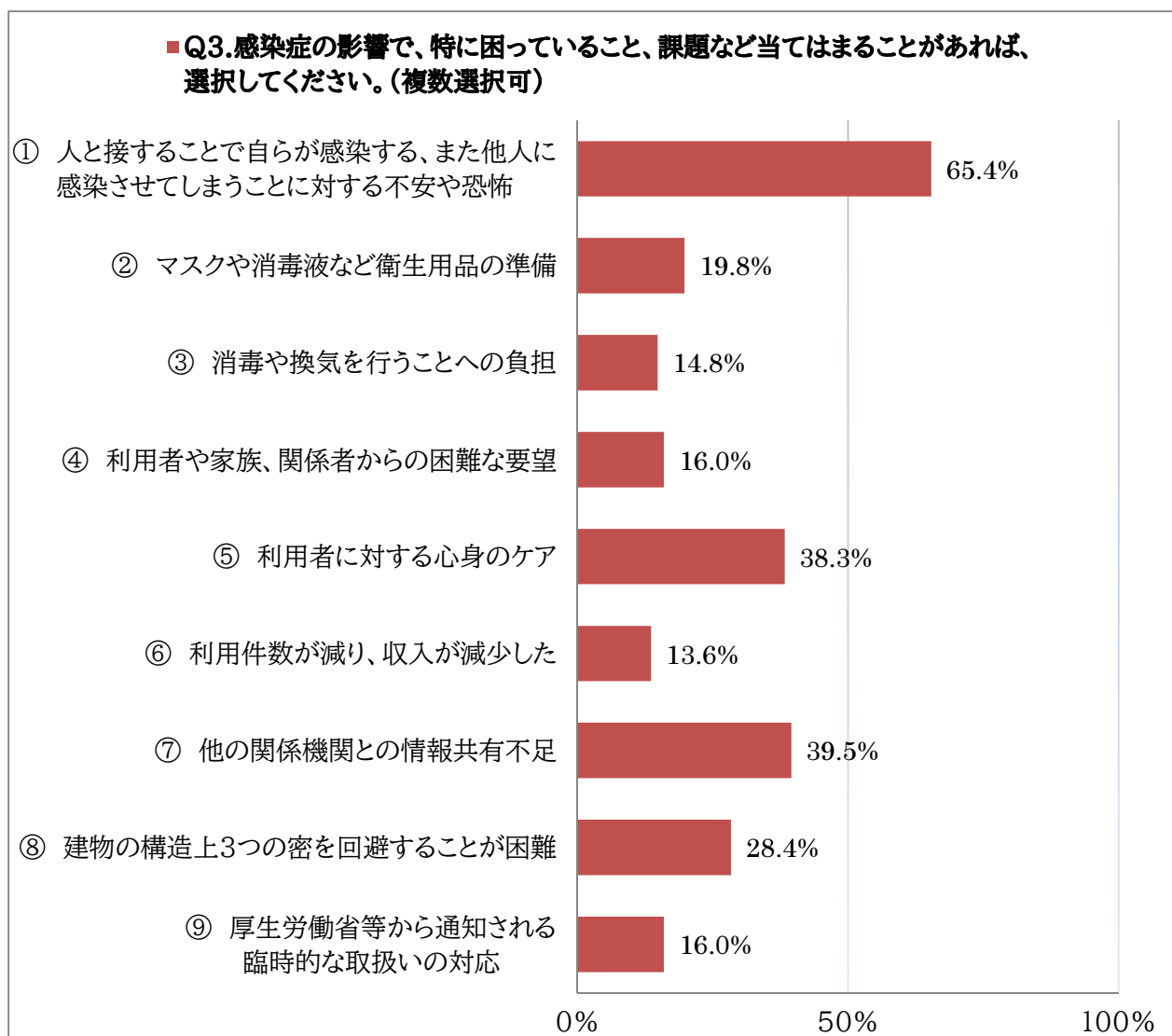
【支援別】

	訪問系	通所系	居住系	相談系	短期入所	移動支援	日中一時	その他
①	90.0%	97.7%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%
②	90.0%	97.7%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%
③	80.0%	93.0%	75.0%	72.7%	50.0%	66.7%	100.0%	100.0%
④	80.0%	97.7%	87.5%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%
⑤	90.0%	97.7%	100.0%	90.9%	0%	100.0%	66.7%	100.0%
⑥	60.0%	83.7%	75.0%	63.6%	0%	66.7%	100.0%	100.0%
⑦	0%	16.3%	12.5%	0%	0%	0%	0%	0%
⑧	60.0%	37.2%	62.5%	72.7%	0%	66.7%	33.3%	100.0%
⑨	20.0%	34.9%	0%	36.4%	0%	0%	0%	0%
⑩	90.0%	97.7%	87.5%	81.8%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%
⑪	50.0%	93.0%	50.0%	72.7%	50.0%	66.7%	100.0%	0%

【その他の主な回答】

- ・訪問時は、必ず消毒をしてから伺っている。(訪問系)
- ・利用者にも可能な場合、自分で体調チェックをお願いしている。(訪問系)
- ・予防着、グローブ、フェイスシールド等を利用している。(訪問系)
- ・空気清浄器の設置(通所系)
- ・酸性電解水の配布(通所系)
- ・職場訪問の自粛(通所系)
- ・職員と利用者で玄関や食事場所を分けている。(通所系)
- ・施設に入室する際は、新しいマスクに交換している。(通所系)
- ・加湿器の利用(通所系)
- ・人数が多い場合は、別の部屋や外遊びなど密にならないよう配慮している。(通所系)
- ・従業員、利用者向けの感染症対策講義の受講(通所系)
- ・利用者へ3時間おきの検温(通所系)
- ・公共交通機関を利用した職員の着替え(通所系)
- ・道外在住者と接触後は、利用・出勤の規制(通所系)
- ・施設外就労先からの帰所時の手洗い・うがい(通所系)
- ・同居家族を含めた検温の実施及び管理(居住系)
- ・不要不急の外泊・外出の自粛以来(居住系)
- ・食事の居室配善(居住系)
- ・利用者に対する来所以外の面談方法(電話・メール・オンライン面談)の告知(相談系)
- ・空間除菌装置の導入(相談系)
- ・短期入所事業は、新型コロナ感染軽減の観点から実施していない。(短期入所)
- ・感染者が出た場合は、情報共有のため連絡をもらえるよう保護者に声掛けをしている。(日中一時)
- ・モニタリング訪問、担当者会議等を極力控えている。(その他)
- ・必要に応じて訪問することもあるが、極力短い時間での対応(その他)

7 Q3について



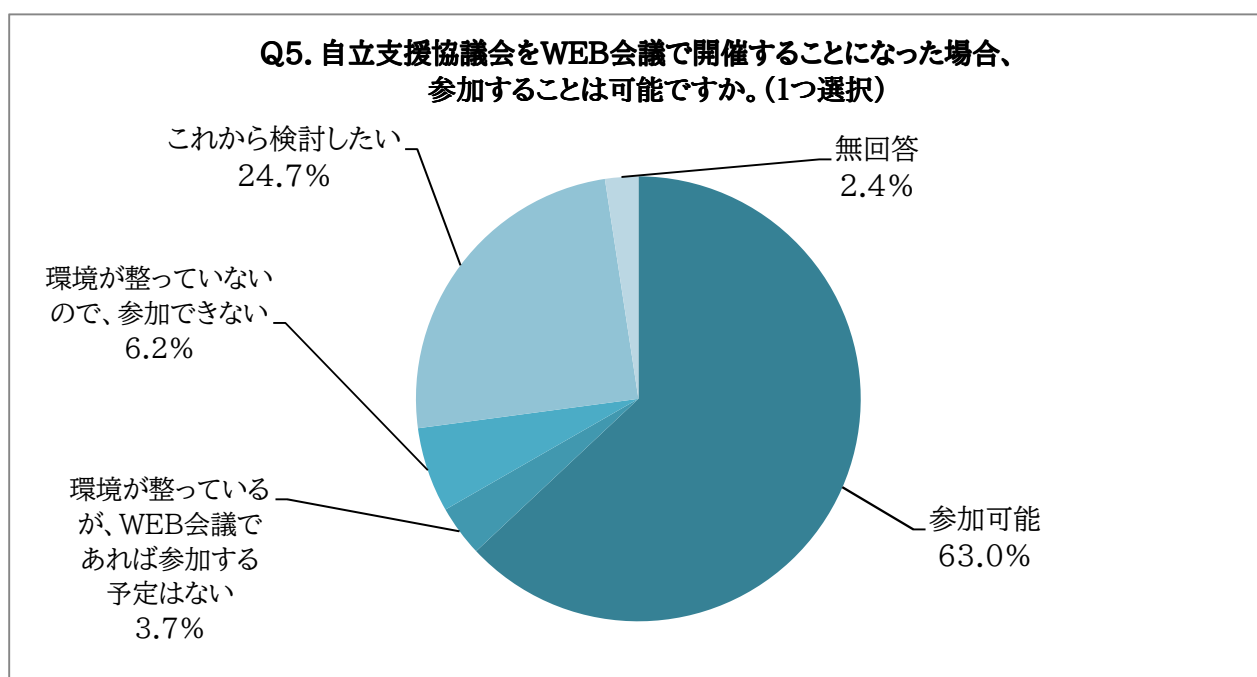
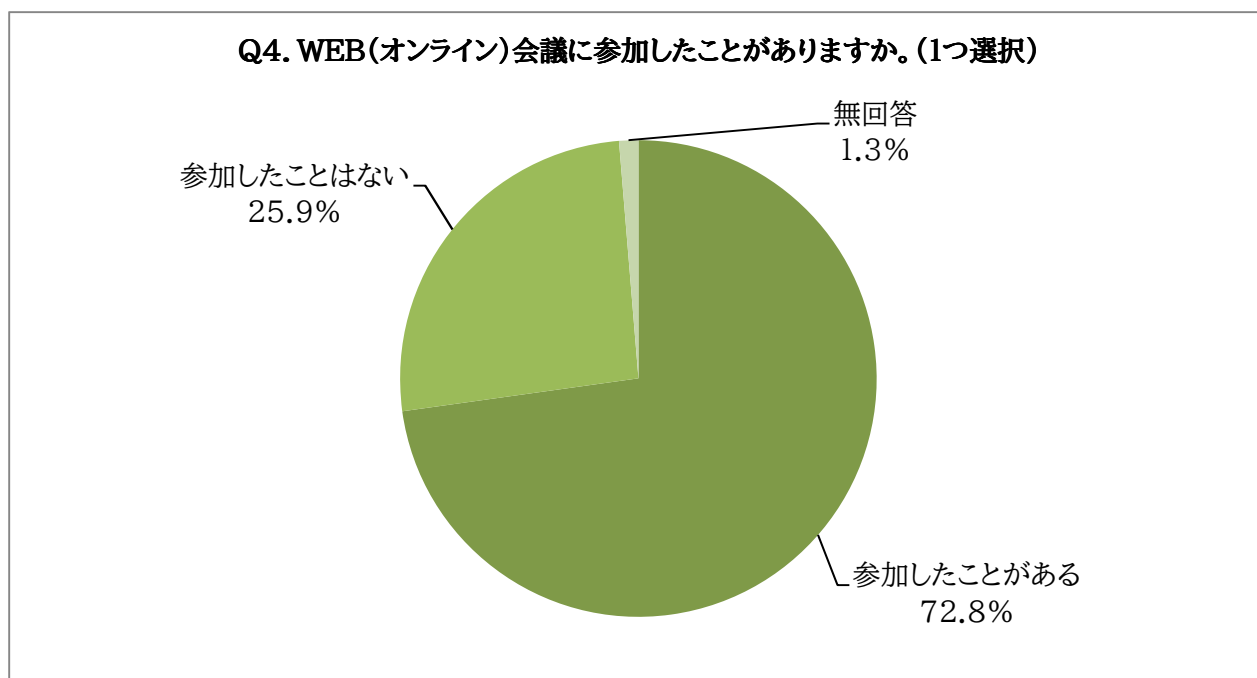
【支援別】

	訪問系	通所系	居住系	相談系	短期入所	移動支援	日中一時	その他
①	80.0%	60.5%	87.5%	54.5%	0%	100.0%	66.7%	100.0%
②	20.0%	27.9%	12.5%	0%	0%	33.3%	0%	0%
③	30.0%	14.0%	0%	9.1%	0%	66.7%	0%	0%
④	30.0%	9.3%	25.0%	9.1%	0%	33.3%	66.7%	0%
⑤	30.0%	32.6%	75.0%	54.5%	0%	33.3%	33.3%	0%
⑥	10.0%	14.0%	12.5%	0%	50.0%	0%	33.3%	100.0%
⑦	40.0%	39.5%	50.0%	36.4%	50.0%	33.3%	33.3%	0%
⑧	10.0%	37.2%	37.5%	0%	50.0%	0%	66.7%	0%
⑨	20.0%	20.9%	0%	9.1%	0%	33.3%	0%	0%

【その他の主な回答】

- ・換気を行うことで、冬は特に事業所内が寒くなる。(訪問系)
- ・緊急相談や緊急訪問時など、多人数で密にならざるを得ない場面がある。(訪問系)
- ・特別にはないが、対応が必要な分だけ今までより制約があること。(通所系)
- ・感染予防のための日々の行動について、利用者に理解していただき、各自実践してもらうこと。多くの方は実践できるが、自己流の理解にとどまってしまう方がいる。(通所系)
- ・コロナが広がる前から繋がっている企業とは、連絡を取り合える関係ができていますが、新しく契約となった方については、職場の状況がよく見えないので、アドバイスや職場への要望が出しにくい。(通所系)
- ・清掃などの実習先の減少により、作業収入が減少している。(通所系)
- ・実習先が減少したことから、作業所内が3密の状態になることと利用者同士の関わりが増えてしまうため、落ち着かなくなりトラブルが増える。(通所系)
- ・妊娠している保護者への配慮をもっと上手くにできると良いと感じている。(通所系)
- ・コロナ対策での助成金があったが、2月末で終了。今現在もコロナ対策は続いているため、消耗品等にも継続してお金はかかってしまう。また、近日中に会社で持っている車、全てのウイルス除菌清掃を行う予定のため、まとまった金額の支出もある。会社としてできる限りの対応はしているものの、金銭の支出が継続しているため、困っている。(通所系)
- ・勤務しているスタッフはほとんど子持ち。保育園、幼稚園、小学校に通っているが、コロナの症状が1つでもあると登園や登校ができないため、スタッフも休まざるを得ない状況にある。同日に数名のスタッフが休むとなると現場対応に支障が出るのではという不安がある。(通所系)
- ・外出行事ができず事業所内で過ごすことが多いため、色々な場所に出かけて経験することで培われることが難しい。(通所系)
- ・外部に出向いて研修が受けられない。オンラインは世の中に合っていると思うが、出向くことで繋がれる方々がいたので残念に思う。(通所系)
- ・利用者にマスクの着用を都度お願いしているが、着用を忘れることもあり、徹底は難しい。(居住系)
- ・感染があった場合、建物の構造上や障がいの特性により隔離が困難(居住系)
- ・重度障がい者の家族が感染した場合、自宅で1人で過ごすことが困難。本人を一定期間受け入れる機関や事業所が江別市内にはない。(相談系)
- ・他連携機関への訪問・見学に対し、遠慮がちになってしまう。(相談系)
- ・未知の感染症一般に恐怖と責任逃れで過剰防衛になりやすく、政府や公衆衛生の自称専門家等による膨大な情報の中から障がいの特性や生活現場に沿った適切妥当な知識を見極めるのが難しい。(相談系)
- ・独居の障がい者への正しい感染症知識の理解に努めているが、それを1人で実行してもらうことへの難しさ。(相談系)
- ・PCR検査で陰性にもかかわらず、本人が納得できず短期入所のキャンセルがあり、収入が減少した。陰性であれば利用できることを家族が知っていればと思った。(短期入所)
- ・障がい者施設でコロナが発生した場合、どこが主体になって家族の困りごとに対応するのかを決めていただきたいと思った。(短期入所)

8 Q4. Q5について



9 Q6（江別市自立支援協議会についてのご意見等）について

- ・いつもためになる内容となっているので、今後も参加したい。(通所系)
- ・時間帯によっては、参加できる時とできない時がある。基本的に午後からは、児童が来所するため、WEB会議での参加は困難。(通所系)
- ・是非オンラインでも自立支援協議会を行ってほしい。外部に出向いて研修を受けることが難しいので。(通所系)
- ・現在の状況を加味して、3密や感染防止の観点からオンラインでの開催を希望したい。(通所系)
- ・定例会など、オンラインでもよいので再開されることを心待ちにしている。(通所系)
- ・中々集まったの開催が難しい状況となっているが、協議会は各事業所間の情報共有等において大変有意義な場であると感じていたので、WEBを活用した開催があればぜひ参加したいと思っている。(通所系)
- ・利用者の中から、福祉的就労に繋がる方もいるので、従来通り、事業所に関する情報提供（特色・送迎の有無など）を頂けると嬉しい。(相談系)
- ・資源開発・改善、困難事例スタディー等を扱う部会運営に重点を置いたものにしたらどうか。(相談系)
- ・札幌近郊の事業所見学、利用者目線のインパクトのある道外講師による講演を希望。(相談系)
- ・普段は日中一時と短期入所を併用している方が、コロナで通所がお休みになった時の情報提供が無さ過ぎた。家族の就労でどうしても日中の見守りが困難になる家庭があったが、どこから依頼がなく仕方なく受け入れを行った。もう少し情報提供をしながら日中活動できなくなることの過程の困難さを理解して欲しい。(日中一時)

以上、皆様からの回答を基に今後の協議会運営に活用したいと考えています。お忙しいところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。